

つなぐ つながる つなげる



愛知県立岡崎盲学校

校長 成瀬 通彦 氏

本県の特別支援学校では、平成三十年十二月に策定された「第二期愛知県特別支援教育推進計画」（愛知・つながりプラン二〇二三）に基づき、知的障害特別支援学校における幼児児童生徒数増加による教室不足等の課題に対し、平成三十一年度開校の瀬戸つばき特別支援学校、令和四年度開校のにしお特別支援学校により、学校規模の過大化による教室不足が、抜本的に解消されてきました。また、本年度四月の千種聾学校ひがしうら校舎開設により、長時間通学の課題解消に向けた施策も進められ、子どもたちの教育環境の充実と改善が、着実に進んできています。

一方で盲学校（視覚特別支援学校）は、全国的に在籍幼児児童生徒数の著しい減少が課題となっており、障害者権利条約批准に基づく障害者基本法、障害者差別解消法等の関連法の整備が進み、インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援



令和5年11月1日

11月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想……………	1
愛知県立岡崎盲学校 校長 成瀬 通彦 氏	
この人に聞く……………	2
岡崎グルメを盛り上げる会 代表 神谷 知秀 氏	
羅針盤……………	2
野外活動指導員 太田 幹彦	
ふれあい……………	3
矢作中学校 教諭 島 佑輔	
特集……………	4
こどもまんなか社会 ～みんなで育て、みんなで支える～	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
カブトムシ交流(昭和63年)	
この本を……………	8

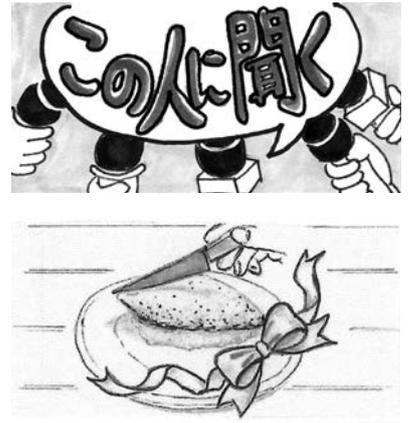
教育の取組が進展する中、本人・保護者のニーズにより地域の小・中学校の特別支援学級（弱視学級）及び通常の学級で学ぶ機会が増えたことは事実であり、よいことだと思えます。しかし、令和三・四年度視覚障害教育充実強化モデル事業において行われた「視覚に障害のある児童生徒の教育支援に関する実態調査」では、地域の小・中学校に在籍する視覚に困難のある児童生徒のうち、盲学校と連携が取れている児童生徒の割合は、十五・三％という低い数値を示しました。特に通常の学級に在籍する児童生徒の連携比率が低く、

小学校で十一・九％、中学校で六・七％でありました。弱視児が通常の学級で学ぶためには、視覚補助具は必要不可欠であり、その使用方法を始め、子どもや指導者の支援を担うのがセンター的機能としての盲学校の役割であると自覚しています。

「見えにくさを抱える子どもは、周りからも見えにくい」ということを周りの大人たちが認識し、「誰一人見逃さない」という決意の下、確実に連携していくことが大切だと考えます。「つなぐ つながる つなげる」を合言葉に。

(なるせ みちひこ)





つながりを作ることができる人

岡崎グルメを盛り上げる会

代表 神谷 知秀氏

岡崎公園の一角に、コック服に髭を生やした男性のイラストが目立つ黄色のキッチンカーがある。そこに、ひときわ元気な声で接客し、笑顔を見せる神谷さんの姿があった。
 「なぜコックになろうと思ったのですか」

両親が共働きで帰宅が遅かったため、兄弟の分まで食事を作る機会がよくありました。そのような経験から、小学校卒業時には、「コックになりたい」という夢をもっていました。家庭の事情で、一旦は会社員になりましたが、料理人の道を諦めることができませんでした。両親の猛反対を受けたものの、入社後三か月で辞表を出しました。そこから家を出て、住み込みで働かせてくれる店を探しました。何軒も断られ、やっと名古屋にあるフランス料理店で修

行させていただけることになりました。そして、二十歳のころには「二十五歳で自分の店を持つ」という明確な目標を掲げ、料理の勉強により一層力を入れました。

「苦労や挫折はありませんか」

二十五歳で念願のカジュアルフレンチレストランを開業できました。さらに、一つの料理に向き合いたいという思いから、三十歳のころにオムライスを中心に店を開業しました。百人中百人がおいしいと感じるものと試行錯誤した結果、たくさんのお客様から支持をいただくことができました。店も四店舗まで拡大することができました。しかし二〇〇五年ごろ、店は立て続けに業績が悪化し、三店舗を閉店することにしました。今思うと、その原因は、店舗拡大により、スタッフやお客様への対応など、よりよいサービスが行き届かなくなってしまうことにあると思います。

そんな自分を変えようと思い、商工会議所やサービスマンに携わる方と積極的にコミュニケーションをとりました。以前ならばプライドが邪魔をして、人に弱みを見せたり、協力を求めたりすることはできませんでした。しかし、思い切って自分の失敗談を話してみると、たくさんの方から、労いの言葉やアドバイスをいただくことができました。これまでに誰にも負けたくないという気持ち

強かったのですが、次第に誰かを助けたいと思うようになりました。また、周囲の方々とつながり、支え合うことができるようになりました。
 「これから目指すものは何ですか」

生まれ育った岡崎をグルメの街にしたい、助けていただいた方々に恩返しをしたいという思いから、岡崎を盛り上げるための様々な会の代表や会長を務めています。最も力を入れていることは、人と人、店と店のパイプ役になることです。時には、収益が見込めるイベントの参加を自ら辞退して、他の店に譲ることもあります。飲食業なので、お金を稼ぐことはとても大切です。しかし、それ以上にこれまでの人生で学んだ、人と人とのつながりを大切にし、周りの人を助けていきたいと思っています。人とつながる中で、「ありがとう」という感謝の言葉や「神谷さんなら何とかしてくれる」という信頼の言葉をいただくことが、仕事をすすめる原動力となっています。これからは、人と人をつなぎ、互いに支え合いながら、みんなで岡崎のグルメを盛り上げていきたいと思っています。



氏名 かみや ともひで
 生年月日 昭和四十四年
 四月十四日
 住所 岡崎市羽根町



子供が考え、やってみる授業

野外活動指導員 太田 幹彦

野外活動では、実際に活動を行う中で、子供が自分の力で考え、判断し、今まで気づかなかった新たな発見や、体験をすることができる。特に、自然の中で感じるすることができる様々なにおい・感触・音、自然物の形の面白さや美しさなどは、学校の中だけでは感じにくい、貴重なものである。

A 教諭は、小学五年生を対象にした授業の導入で、舞い切り式火起こし器を提示し、マッチやライターを使わずに火を起こす方法について尋ねた。子供たちは、身振り手振りを交えて火起こしの方法を考える。そして、三人組の活動に入った。

しかし、いざ活動に入るとうまくいかない。「もっと速く棒を回した方がいいかな」、「焦げるけど、煙が出てこないね」など、それぞれの班で



Aさんの居場所

矢作中学校

教諭 島 佑輔

Aさんは、気になる生徒の一人だった。表面上は明るく積極的に学習に取り組んでいるように見えた。その反面、級友と交わらず、浮かない表情で物思いにふける姿も多かった。心の中に何かを抱えていることは感じていたが、生活アンケートや日記、面談等でも、Aさんの心の内を知ることはできなかった。

ある日突然、Aさんが家出をした。連絡をしてくれた級友の家に急いで向かうと、Aさんが申し訳なさそうな表情を浮かべて出てきた。「迷惑をかけて、すみません」と言った後、口をつぐんでしまったAさんに、「一緒に行く」と声をかけ、二人で学校へ向かった。気まずい雰囲気のまま、しばらく無言で歩き続けた。正門が見えてきたあたりで、「居場所がないんです」と、やっとAさんは

口を開いた。

心を開ける友達が少なく、学校も楽しくないこと、家に落ち着く場所がないことなどをぼつぼつと話し始めた。初めて心を開いてくれたことがうれしく、「よく話してくれたね」と声をかけると、Aさんは、ぼろぼろと涙を流した。「楽しい学校生活になるように応援していきよ」と伝えた。

それ以来、学級がAさんの居場所になるように、級友との関わりを増やしたいと考えた。そこで、絵を描くことが得意なAさんに、六月に行う体育大会の学級旗作成リーダーになることを勧めてみた。このような役割を担うことは初めてだったAさんは、戸惑いつつも承諾した。「来週までに、学級旗のデザイン画を描いてきてください」と、自信なさげに学級全体へ声をかける様子に、「大丈夫。分かりやすい説明だったよ」と声をかけた。

リーダーとして活動していくうちに、級友との関係は変化していった。「ここは、何色にしたらいいかな」とAさんから級友に質問し、働きかけるようになった。また、Aさんの献身的な行動を見た級友から「ありがとう」と言われて、うれしそうに表情を浮かべることも増えていった。旗が完成する頃には、Aさんの表情

は、以前の硬さがとれ、明るく柔らかなものに変わっていた。同時に、私とAさんとの心の距離も縮まったように感じた。「先生、ここはどうしましょうか」と相談してきたり、雑談に加わったりすることが多くなった。入賞は逃したが、「旗作りのリーダーありがとう」と話しかけると、「最初は自信がなかったけれど、楽しかったです」と、満面の笑みが返ってきた。その言葉は、取り繕ったものではなく、Aさんの心の内からあふれ出た一言だと感じた。

問題の全てが解決したわけではない。だが、学級に居場所を見つけ、Aさんなりに以前の自分を乗り越えたのではないだろうか。十一月に行う合唱コンクールのパートリーダーに自ら立候補するAさんの姿から、そう実感している。



自分たちなりに考え、悩む姿が見られた。そこで、A教諭は、「あの班は煙が出ているよ」と声をかけた。すると、「取っ手を押すときに強くしてる」、「動かすリズムが一定だよ」と、火起こしのこつに気づく子供が現れた。間もなくして、「煙が出てきた」と多くの班で歓声があがった。

また、火種ができた班は、火を起こす活動へ進んでいた。子供は、慎重に火皿に火種を移し、息を吹きかける。「まだまだ」「もう少し」と声があがる。しかし、応援も空しく、火種は消えてしまう。肩を落とす子供にA教諭は、「何に気をつけて吹いたの」と声をかける。「とにかく強く吹いてみた」という答えに、「強さの次は、何に気をつけてみようか」と問いかけた。この問いかけに子供たちは、お互いに声をかけ合い、考え、工夫をしながら、夢中になって火起こしに取り組んだ。そして、火種を作るためには、吹きかける息の長さが大切であることに気づけた。

焦げるにおいや火の温かさを感じながら気づいたことをヒントに思考を巡らせ、試行錯誤する。その中で、新たな知識や技術を身につける。子供の「やってみよう」とする思いを引き出す支援を大切にしたい。

こどもまんなか社会 ～みんなで育て、みんなで支える～



▲YAMABIKO 食堂のイベントで周りの人に見守られながら、ヤギと触れ合う子供(下山学区地域づくり協議会)

令和五年四月、「こどもまんなか社会」の実現を目指し、こども家庭庁が発足した。岡崎市もその趣旨に賛同し、八月に「こどもまんなか応援サポーター」を宣言している。

市は、平成二十七年に策定した「おかざきっ子育ちプラン」の基本理念に基づき、子育てに関する環境整備を行ってきた。現在は、その第二期に入り、さらに子供の幸せを第一義とした環境整備の充実を図っている。

令和四年に設立された、子ども・若者総合相談センター「わかサポ」は、〇歳から三十九歳までを支援対象者

とした機関である。相談活動以外にも、人間関係づくりを目的とした「ゆるトーク」や、活動体験のための「ボランティア部」、体力づくりやレクリエーションを目的とした「運動部」などのイベントを定期的に開催し、関係機関と連携した支援を行っている。学校や社会生活において、悩みや不安を感じている子供や若者を誰一人取り残さず支え続けるため、その働きが期待されている。

他にも、地域主催の行事や福祉センター等の開放、家庭児童課や児童相談所による見守り体制など、様々な支援も進められている。学校と家庭、地域がつながり、誰もが安心して健やかに生きていける社会の実現を願う。

基本施策 3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

生活や学びの基礎を培う幼児期からの教育や、様々な体験の機会の提供を通じて、子どもたちが心豊かにたくましく生きる力を身につけられるよう、家庭・学校・地域が一体となり次代の担い手の育成に取り組めます。

- ▶ (1) 子どもの健やかな体づくり
- ▶ (2) 乳幼児期の養育の充実
- ▶ (3) 人間性・社会性を育む体験活動の推進
- ▶ (4) 生きる力を育む教育の充実



ホテル学校での環境学習

取組の例
市民スポーツ大会 / 動物愛護教室 / 生徒市議会 / こどもまつり / ブックスタート / かがくフェスタ / 少年自然の家 / ホテル学校 / おかざき自然体験の森 / 自然観察会 / 理科作品展 / タブレット型情報端末導入 / 地球温暖化防止隊 / 親子造形センター

▲「おかざきっ子 育ちプラン」(R2 概要版)

地域の取組 ～つながり支え合う場～



▲放課後児童クラブ
(第2太陽クラブ)



▲学区ふれあい遠足
「ぶどう狩り」(常磐東小)



▲定期教養講座「やさしいヨガ」
(中央地域福祉センター)



▲かかしづくりイベント(下山)



▲子供が読書や学習などで利用できる、開放されたスペース
(高年者センター岡崎)

わかサポの取組

～支援をつなぐ～



▲わかサポのF組訪問(南中)



▲F組生徒のわかサポ訪問(福岡中)



▲「ゆるトーク」(わかサポ)

中学校在籍中は、さまざまな支援を受けることができます。登校支援や、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど、必要に応じて活用することができますよね。しかし、中学校を卒業した途端に、それらの公的な支援は途切れてしまうのです。私たちはそれを「十五歳の壁」と呼んでいます。その壁を作らないようにするために力を注いでいます。例えば、社会復帰のためのサポートとして、「ゆるトーク」や「ボランティア部」などの居場所づくり活動を実施しています。また、各中学校のF組への訪問を行い、生徒と他愛のない会話をしながら卒業後もつながる関係づくりを目指しています。そして、定期的に街頭補導をし、少年への声掛けや「わかサポ」の周知をしています。

誰一人取り残さずに支援を続けていきたいと思っています。



わかサポセンター長
浦野 公一さんの話



●日本語初期指導教室
(プレクラスだより)

まずは「やさしい日本語」から

指導員 藪田 正隆

海外から編入してくる子供たちにとって、日本の学校のシス
テムや様々なルール、慣習など
の文化の違いによる不安は、
日本の学校のみで生活してい
る私たちの想像力では計り知
れないものがある。

開室から現在まで、プレク
ラスの卒業生の出身国は八か
国にも及ぶ。日本語教育講師
の通訳だけでは間に合わない
状況である。翻訳機やアプリの
進歩は目覚ましいが、翻訳に時
間がかかる言語もある。正しい
翻訳かどうか疑わしい場合も
ある。翻訳した日本語が表示さ
れるアプリならば、何回もチャ
レンジできるが、そうではな
いアプリは誤訳の危険度が高
まってしまふ。同音異義語が

ある場合や、難しい言い回し
は特にそう感じる。「いいか
げんにしなさい」が「ちよう
どいいです」に翻訳され、職
員が慌てたこともあった。

子供たちと話す時、誤訳を少
なくするために、小学校低学年
にも伝わるような「やさしい日
本語」で、シンプルに話すよう心
掛けています。「やさしい日本語」
にしてから翻訳すれば、間違
いは格段に減らすことができ
る。これは、プレクラスの子
供だけでなく、それぞれの学
校の日本人の保護者にも通じ
るように思う。

常にやさしい日本語で話す
ように心掛け、子供たちに寄
り添いながら、学びを支えて
いきたい。



プレクラスの朝の学習風景

●表彰

◆第45回東海中学校総合体育
大会

○バレーボール(静岡県)

出場 美川中

◆第44回愛知県ジュニアオリ
ンピック兼U16県代表選考会

○女子走高跳

優勝 矢作北中 夏目 純佳

○男子3000m

優勝 矢作北中 稲垣 諒也

○男子円盤投

2位 福岡中 宮地 嵐俄

◆第12回日本学校合奏コン
クール2023 全国大会ソ
ロ&アンサンブルコンテスト

予選審査

○アンサンブル部門

中学校の部

予選通過(全国大会進出)

福岡中

◆第90回NHK全国学校音楽
コンクール 東海北陸ブロッ
ク大会

○小学校の部

金賞(全国大会に進出)

六名小

◆第76回中部合唱コンクール

○中学生部門 同声合唱の部
銀賞 六ツ美北中
銅賞 矢作北中

◆第58回CBCこども音楽コ
ンクール

○小学校 合唱部門

優秀賞(中部日本決勝大会進出)

六名小

優秀賞(中部日本決勝大会進出)

三島小

優秀賞(中部日本決勝大会進出)

山中小

○中学校 合唱部門

優秀賞 竜海中

優良賞 六ツ美北中

○中学校 重唱部門

優秀賞 竜海中

○中学校 重奏・管楽合奏部門

・サクソフォン三重奏

優秀賞 六ツ美北中

・サクソフォン四重奏

優秀賞 六ツ美北中

◆第27回東海小学生バンド
フェスティバル

○ステージパフォーマンス部門

金賞 竜美丘小

◆第35回愛知県マーチング大会

○中学校バレードコンテスト部門
銀賞 南中



教職員の相談窓口

【対象】 全教職員 【相談内容】 ・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいちこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

第56回 岡崎市中学校新人総合体育大会

種目	性	優勝	第2位	第3位
陸上競技	男	竜海	六ツ美北	矢作北
	女	新香山	矢作北	六ツ美北
バスケットボール	男	甲山	翔南	葵 六ツ美北
	女	翔南	竜海	六ツ美北 葵
バレーボール	男	矢作	六ツ美	新香山 北
	女	翔南	美川	東海 六ツ美
ソフトテニス	男	甲山	城北	城北 竜海
	女	矢作	六ツ美北	城山 葵
卓球	男	城北	竜海	岩津 矢作北
	女	矢作北	竜海	新香山 河合
剣道	男	矢作	翔南	額田 附属
	女	翔南	竜海	六ツ美北 矢作

種目	性	優勝	第2位	第3位
ハンドボール	男	竜南	美川	六ツ美
	女	美川	高浜	
軟式野球	男(女)	矢作	矢作北	竜海 額田
	女	城北	矢作北	矢作
柔道	男	矢作	竜海	矢作北
	女	矢作	甲山	
サッカー	男(女)	六ツ美北	竜海	矢作北 竜南
	女	幸田A	幸田北A	幸田南A
弓道	男	幸田A	幸田北A	幸田北B
	女	幸田南A	幸田北A	幸田北B
水泳	男	矢作	矢作北	翔南
	女	竜海	矢作	矢作北

個人競技 (1位記録のみ)

水泳競技

種目	男子			女子		
	氏名	校名	記録	氏名	校名	記録
50m自由形	杉本直樹	翔南	★25"57	杉山芽衣	翔南	29"63
100m自由形	川原井翔	矢作北	59"23	加藤いちご	城北	1'06"67
200m自由形	大竹暁生	北	★2'03"89	片山灯夏	北	★2'12"45
50m平泳ぎ	大田雄輔	六ツ美	33"33	丸田さくら	矢作	48"71
100m平泳ぎ	鈴掛雄大	葵	1'13"70	内山結陽	六ツ美北	1'18"69
50m背泳ぎ	渡橋成兜	岩津	32"70	柴田奈那	甲山	33"19
100m背泳ぎ	吉岡虎徹	矢作	1'07"44	鈴木里枝	南	★1'07"11
50mバタフライ	家永開次	矢作	30"32	高木碧琉	竜海	31"43
100mバタフライ	石川煌起	矢作北	1'02"21	岩崎清緒良	葵	★1'07"78
200m個人メドレー	杉山昊徽	竜海	★2'14"89	種池祐月	六ツ美北	★2'30"72
4×100mR	石川・古茂田 本郷・川原井	矢作北	4'07"91	齊藤・田村 池野・長岡	矢作	★4'26"19
4×100mメドレーR	古茂田・本郷 石川・川原井	矢作北	★4'28"66	高野・竹下 宇賀神・高木	竜海	★4'54"75

陸上競技

性	種目	氏名	校名	記録
男	100m	深川広輝	矢作北	12"05
	200m	小島昊大	東海	23"67
	400m	安井遥人	矢作北	55"11
	800m	坂井俊太	福岡	2'10"57
	1500m	太田至	六ツ美北	4'23"29
	3000m	判治直哉	竜海	9'26"40
	110mH	和知志侑	美川	15"80
	4×100mR	木村・深川 佐久間・安井	矢作北	★45"75
	走高跳	中田洗七	六ツ美北	1m68
	棒高跳	市川翔悟	六ツ美北	2m50
女	走幅跳	二村有哉	竜海	5m72
	砲丸投	宮地嵐俄	福岡	9m27
	100m	栗山あけみ	矢作北	13"43
	200m	原田知奈	葵	28"26
	800m	市川紗帆	六ツ美北	2'24"93
	1500m	本田結彩	新香山	4'54"80
	100mH	小田千紘	葵	15"42
	4×100mR	辻・栗山 福田・田島	矢作北	52"36
	走高跳	浅井暖乃	甲山	1m40
	走幅跳	長谷川和奏	北	4m29
砲丸投	テモワラ貴緑良	六ツ美北	8m33	

柔道

男子			女子		
階級	氏名	校名	階級	氏名	校名
軽量級	小笠原昊	矢作北	軽量級	俊沙弥香	矢作
軽中量級	竹本杏慈	常磐	軽中量級	関口美虹	矢作北
中量級	神谷巧夢	矢作北	中量級	森山咲笑	矢作
重量級	小野孝太	竜海			

弓道

性	氏名	校名
男子	村上陽	幸田北
女子	杉浦凜音	幸田北

令和5年度 岡崎市小学校体育大会

競技	優勝	第2位	第3位	競技	優勝	第2位	第3位	競技	優勝	第2位	第3位				
ソフトボール	男子	北井田	梅園	連尺	矢作東	バスケットボール	男子	北連尺	矢作東	矢作北	井田				
		東上地	男川	山中	豊富			南竜美丘	六ツ美西部	緑丘	矢作南				
	女子	南竜美丘	小豆坂	六ツ美西部	福岡	北大樹寺	大門	井田	岩津	水泳	男子	北広幡	六名	細川	
		連尺	矢作東	梅園		東三島	竜美丘	竜谷	根石			南小豆坂	矢作南	福岡	
バレーボール	男子	矢作北	梅園	矢作南	北野	サッカー	男女	北井田	岩津	矢作北	六名	女子	北梅園	大樹寺	矢作東
		東常磐南	奥殿	山中	上地			南六ツ美南部	六名	福岡	羽根		南岡崎	根石	六ツ美西部
	女子	北矢作北	梅園	井田	北野	南六ツ美南部	羽根	竜谷	福岡						
		東岡崎	矢作南	六名	羽根										

第61回 岡崎市小学校陸上競技大会

<男子総合>

1位	大門	2位	附属	3位	奥殿
----	----	----	----	----	----

<女子総合>

1位	岡崎	2位	大門	3位	井田
----	----	----	----	----	----

性	種目	氏名	校名	記録	性	種目	氏名	校名	記録
男	100m	松井秀憲	附属	13"33	女	100m	宮村光	井田	15"24
	5年100m	西愛翔	大門	15"20		5年100m	菊池七海	山中	15"70
	80mH	深見優嘉	奥殿	13"92		80mH	大倉夕奈	附属	16"01
	1000m	松本宗史朗	大門	3'04"68		1000m	咽本梨々乃	井田	3'17"39
	4×100mR	飯田・柴山・加藤・松井	附属	57"03		4×100mR	木下・西川・野村・谷口	岡崎	1'01"68
走幅跳	鈴木湊登	山中	3m96	走幅跳	柴田紗希	常磐南	3m38		
走高跳	今井奏太	常磐東	1m30	走高跳	野村柚衣	岡崎	1m25		

OP男女混合4×100mR	内田・杉山・仲宗根・平山	生平	1'00"85
---------------	--------------	----	---------

・カ
ツ
ト

梅園小 吉田 真由子

カブトムシ交流 (昭和63年)

写真提供：常磐南小学校



「幼虫をあげて、友達になろう」という子供の一言から、名古屋市立高蔵小学校との交流活動が行われた。箱には、七十匹のカブトムシの幼虫が入っている。

常磐南小学校は、地域の豊かな自然にある多くの教育的資産を生かした教育活動を進めている。その活動を深化・拡充する取組の一つが、カブトムシ交流である。また、校庭の栽培園（昭和五十七年完成）では、現在も地域の特産物である自然薯栽培が続けられている。

市内各校では、それぞれの学区の「人・もの・こと」を生かした特色ある教育が展開されている。こうした取組により、郷土を愛する子供の育成につながっていく。

放課後「バイバイ」と手を振り、それぞれの場所に帰っていく子供たち。家庭や学校に加え、もう一つの安心できる場所が地域にはある。

家庭や学校、地域、専門機関が互いに手をとり合い、誰一人取り残さず、みんなで支え合う社会を築く。未来を担う子供たちの進む道が、明るく輝くように。

トマトソースにこだわる。門外不出の秘伝のソースではなく、どこにでもある食材に、経験に裏打ちされた工夫を加えることで、日本一のオムライスが完成する。

誰もが作れそうなのに、簡単には真似できないその味には、シェフの思いや考え、こだわりが凝縮されている。

と ホ

霜 目 ツ



▲持久走記録会(六ツ美北部小)

通学班に、いつもとは違った様相が見られる。「今日は修学旅行なので僕が班長です」と五年生。何度も振り返りながら下級生の様子を見て歩く姿が、初々しくも頼もしい。

色めく木の葉に、季節の移ろいを感じる秋。もの寂しげな雰囲気の中にも、次代に向けて動き出すエネルギーが確かに潜んでいる。



*栗山ノート2
光文社

栗山 英樹
¥1,500

心に残った一文
感情よりも使命が先行していた、と言うべきでしょうか。

教室で観た「翔平・トラウト」のWBCのラストシーンは、今でも心に焼き付いている。栗山監督の野球ノートには、中国の古典や森信三、親鸞、家康等の言葉が記されている。これらは、「侍ジャパン」の監督としての言動や判断の拠り所となってきた。この研究心を見習いたい。

リーダーを決めず全員がリーダーとなる当事者意識の醸成、相手の心を開く「たっちゃんTシャツ」での歓迎、決勝戦前の「翔平、写真でも撮るか」の声掛けなど、全てが緻密に計算され、筋書きに書かれたもの。先を見通す力、組織を機能させる力など、学ぶことばかりである。

*終止符のない人生
幻冬舎

反田 恭平
¥1,600

*銀河鉄道の父
講談社

門井 慶喜
¥1,600

*音楽と生命
集英社

坂本 龍一・福岡 伸一
¥2,000

愛宕小 細井 鶴貴